

# NRC レポート 「自動運転」調査

2015年7月調査結果

 **日本リサーチセンター**  
Member of Gallup International Association

東京都中央区日本橋本町2-7-1  
TEL:03-6667-3400(代) FAX:03-6667-3470  
<http://www.nrc.co.jp/>

◆最近の自動車業界で話題となっている「自動運転」。

技術面については急ピッチで研究・開発が進められていますが、法規制の整備、一般消費者への理解といった利用面については、日本はまだこれから、というのが現状のようです。

弊社では、「自動運転」についての一般消費者の意識を把握するため、**2015年7月**に日本全国を対象に自主調査を実施しました。

➤【お金を払ってでも使いたい自動運転のレベル】

「お金を払ってでも自動運転を使いたい」人は過半数を占める(60.2%)。

レベルまでみると、「次世代の自動運転車(レベル2-4)\*」を志向する人と、「実現済みの自動運転車(レベル1)\*」で十分とする人の割合は拮抗。

\*自動運転のレベル：下記「日本における自動運転のレベル(レベル1-4)」表を参照

➤【自動運転機能を利用したい機会/場面】

自動運転機能を利用したい場面のTOP3は、

高速道路での「長距離運転の代行」(41.1%)、「渋滞時運転の代行」(27.7%)、「深夜運転の代行」(21.4%)で、

高速道路に関する項目が上位。

➤【運転を代行している間にやりたいこと】

運転代行時にやりたいことについては、

1位が「車内でリラックス」(58.1%)、

2位が「車窓からの景色をみる」(36.6%)となり、

車内での休息用途の希望傾向が強い。

➤【自動運転に関する懸念点】

自動運転導入の懸念点として、

「価格が高そう」が唯一半数を超えトップ(59.8%)。

だが、「事故の時責任の所在がよくわからない」(40.9%)

「安全ではなさそう」(31.6%)も多い。

質問紙で提示した日本における自動運転のレベル (レベル1-4)

※内閣府「自動化レベル及びそれを実現する自動走行システム・運転支援システムの定義」を参考に作成

レベル	名称	主操縦	内容	現状
1	安全運転支援システム	人	アクセル、ハンドル、ブレーキの操作・制御のどれか1つだけを車が行う状態	実現
2	準自動走行システム	人	アクセル、ハンドル、ブレーキの複数の操作・制御を同時に車が行う状態	未実現
3		車	通常時は車の自動走行で、緊急時のみ運転手が対応する状態	
4	完全自動走行システム	車	運転手が全く関与しない状態	

## II. 調査結果詳細

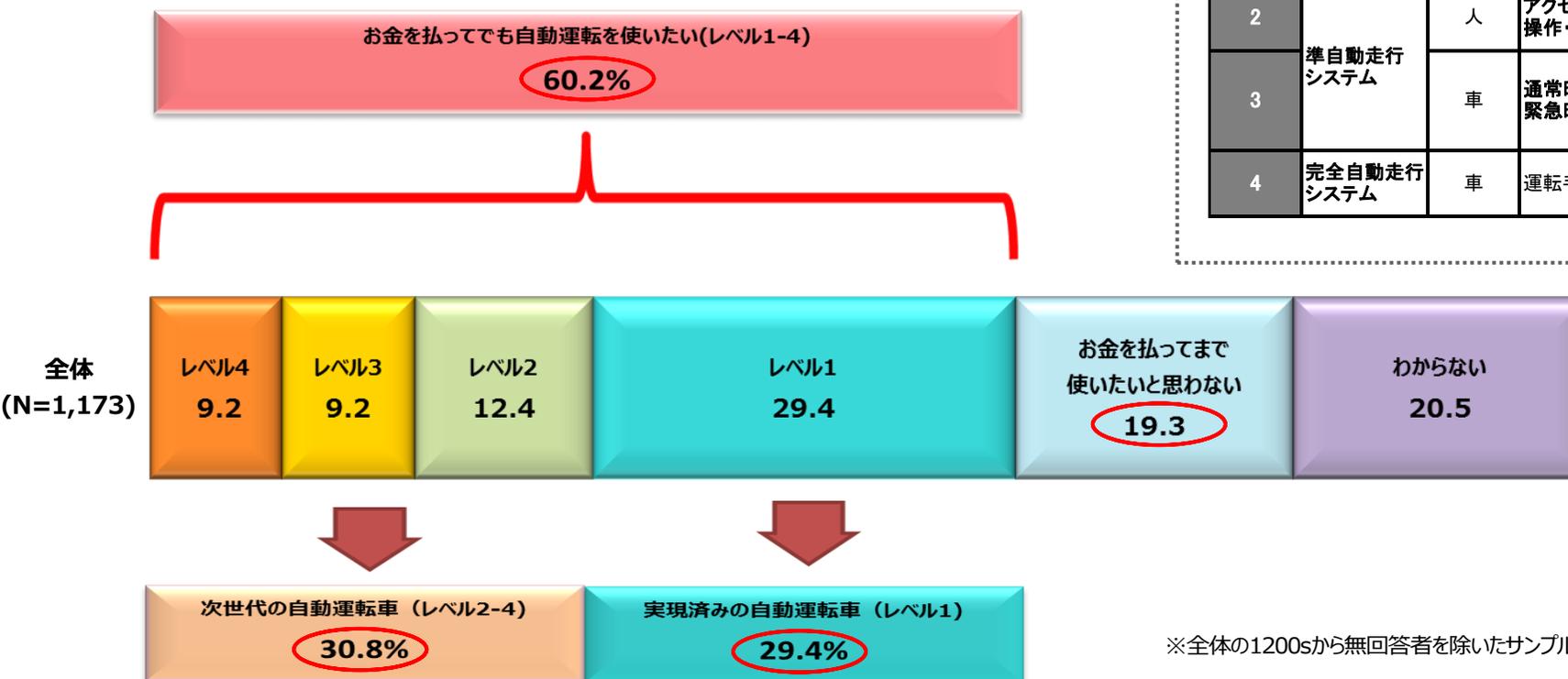
「お金を払ってでも自動運転を使いたい」人は半数を超え60.2%と、「使いたいとは思わない」人の19.3%を大きく上回る。

- 自動運転のレベルで見ると、「次世代の自動運転車(レベル2-4)」は30.8%、「実現済みの自動運転車(レベル1)」は29.4%となっており、次世代レベルまで希望する人と現状レベルで十分と考える人が拮抗する結果となっている。

問1 あなたご自身がドライバーの立場で考えた場合、お金を払ってでも使ってみたい「自動運転」のレベルはどれでしょうか。(1つだけ)

質問紙で提示した自動運転のレベル分け(レベル1-4)

レベル	名称	主操縦	内容	現状
1	安全運転支援システム	人	アクセル、ハンドル、ブレーキの操作・制御のどれか1つだけを車が行う状態	実現
2	準自動走行システム	人	アクセル、ハンドル、ブレーキの複数の操作・制御を同時に車が行う状態	未実現
3		車	通常時は車の自動走行で、緊急時のみ運転手に対応する状態	
4	完全自動走行システム	車	運転手が全く関与しない状態	

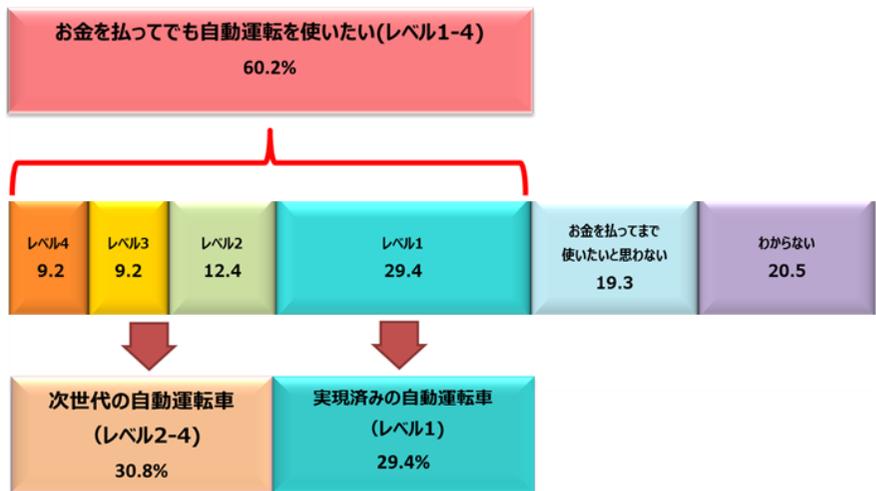


※全体の1200sから無回答者を除いたサンプル数を100%としている

- 「お金を払ってでも自動運転を使いたい」人について、男女別にみると、男性は66.9%と女性の53.6%に比して高い。加えて、女性の「わからない」比率は28.2%と、男性の12.6%に比して高い。
- 年代別にみると、「わからない」が、15～19才(38.0%)、70代(37.1%)、と他世代と比して高い。また、70代は「お金を払ってでも使いたい」は44.3%と唯一半数を下回り、20-30代では「次世代の自動運転車」が、「実現済みの自動運転車」を上回っている。
- 都市規模別にみると、21大都市では、「次世代の自動運転車」を志向する人が、「実現済みの自動運転車」に比して高い。一方で、郡部では「実現済みの自動運転車」の方が高く、「お金を払ってまで使いたいと思わない」も27.1%と他の都市規模に比して高い。

注)10・70代は「わからない」比率が他の年代よりも高く、低関心層と判断し、以降の分析では年代別の表から除外(全体数には含む)。

問1 あなたご自身がドライバーの立場で考えた場合、お金を払ってでも使ってみたい「自動運転」のレベルはどれでしょうか。(1つだけ)



全体より10p以上高い  
全体より5p以上高い  
全体より50以上低い  
全体より10p以上低い

		N	お金を払ってでも自動運転を使いたい		お金を払ってまで使いたいと思わない	わからない	
			次世代の自動運転車(レベル2-4)	実現済みの自動運転車(レベル1)			
全体		1,173	60.2	30.8	29.4	19.3	20.5
性別	男性	585	66.9	36.5	30.4	20.3	12.6
	女性	588	53.6	25.2	28.4	18.2	28.2
年代別	15～19才	71	56.3	33.8	22.5	5.6	38.0
	20～29才	148	62.2	37.2	25.0	23.0	14.9
	30～39才	189	64.7	37.7	27.0	24.3	11.1
	40～49才	207	61.8	26.1	35.7	23.2	15.0
	50～59才	180	65.5	34.4	31.1	17.8	16.7
	60～69才	211	63.0	30.8	32.2	14.7	22.3
	70～79才	167	44.3	18.6	25.7	18.6	37.1
都市規模別	21大都市	336	58.3	33.9	24.4	19.3	22.3
	15万以上の都市	368	64.4	34.0	30.4	17.4	18.2
	15万未満の市	362	59.9	28.4	31.5	18.8	21.3
	郡部	107	53.3	18.7	34.6	27.1	19.6

※全体の1200sから無回答者を除いたサンプル数を100%としている

(%)

「高速道路での長距離運転の代行」が1位。男性は「高速道路」に関する項目が上位を占める一方で、女性や高齢者では高速道路以外にも狭い道で対向車とすれ違うことも上位に挙げられている。

- 全体では、「高速道路での長距離運転の代行」が41.1%で最も高い。次いで、「高速道路での渋滞時運転の代行」(27.7%)、「高速道路での深夜運転の代行」(21.4%)と続き、高速道路に関する項目が上位を占める。
- 男女別にみると、男性はTOP3ともに「高速道路」に関する項目が占める。一方で、女性は2位に「狭い道で対向車と安全にすれ違う」(25.1%)、5位に「車線変更を安全に実施」(14.9%)が入り、「安全性」にも重点が置かれている。
- 年代別にみると、60代では2位に「狭い道で対向車と安全にすれ違う」(24.9%)、5位に「車線変更を安全に実施」(15.0%)が入り、高齢層も女性と同様に「安全性」にも重点が置かれている。

問2 もし、あなたが自動運転機能を試すことになった場合、どういう機会に利用したいですか。(3つまで)

- 1 高速道路での長距離運転の代行
- 2 高速道路での深夜運転の代行
- 3 高速道路での渋滞時運転の代行
- 4 市街地道路での渋滞時運転の代行
- 5 通勤・通学・病院等々の毎日の決まった経路運転の代行
- 6 指定した地点に車が自動で移動して待ち合わせできる
- 7 狭い道で対向車と安全にすれ違う
- 8 車線変更を安全に実施
- 9 2台以上で移動する際、後続車が先頭車に自動でついていく
- 10 車がドライバーに運転の仕方を教えてくれる
- 11 その他
- 12 わからない

		1位	2位	3位	4位	5位
全体	全体	高速道路での長距離運転の代行 N=1,191	高速道路での渋滞時運転の代行 41.1	高速道路での深夜運転の代行 27.7	狭い道で対向車と安全にすれ違う 21.4	市街地道路での渋滞時運転の代行 20.3
	男性	高速道路での長距離運転の代行 N=594	41.1	27.7	21.4	20.3
性別	女性	高速道路での長距離運転の代行 N=597	31.8	狭い道で対向車と安全にすれ違う 25.1	高速道路での渋滞時運転の代行 20.9	高速道路での深夜運転の代行 16.9
	20~29才	高速道路での長距離運転の代行 N=149	48.3	29.5	27.5	22.1
年代別	30~39才	高速道路での長距離運転の代行 N=192	48.4	33.9	25.0	21.9
	40~49才	高速道路での長距離運転の代行 N=213	45.1	35.2	22.5	22.5
	50~59才	高速道路での長距離運転の代行 N=182	48.9	36.8	24.7	24.2
	60~69才	高速道路での長距離運転の代行 N=213	38.0	狭い道で対向車と安全にすれ違う 24.9	高速道路での渋滞時運転の代行 21.6	高速道路での深夜運転の代行 17.8
						車線変更を安全に実施 15.0

全体の1位  
 全体の2位  
 全体の3位

※全体の1200から無回答者を除いたサンプル数を100%としている

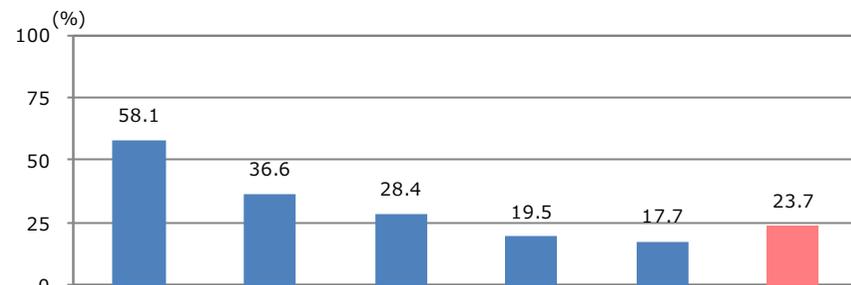
※10・70代は数表から除外

(%)

「車内でリラックス」(58.1%) が半数を超えて1位。以下、「車窓からの景色をみる」(36.6%)、「同乗者と談笑」(28.4%)と続く。

- 男女別にみると、男性の方が「車内でリラックス」、「情報収集・確認」の割合が女性に比して高い。
- 年代別にみると、「車窓からの景色をみる」と答えた人は、年代が上がるほど高くなる傾向にある。一方で、「情報収集・確認」と答えた人は、年代が下がるほど高くなる傾向にある。
- 都市規模別にみると、郡部では「車内でリラックス」、「同乗者と談笑」が、他の都市規模に比して低い。

問3 完全自動走行システムが可能となったら、運転を代行している間、ドライバーであるあなたはどのように過ごしたいですか。(3つまで)



N		車内でリラックスする	車窓からの景色をみる	同乗者と談笑する	テレビ・映画をみる	情報収集・確認(スマホ等)する	わからない
全体	1,185	58.1	36.6	28.4	19.5	17.7	23.7

- 1 車内でリラックスする
- 2 情報収集・確認(スマホ等)する
- 3 同乗者と談笑する
- 4 化粧・身支度・着替えをする
- 5 テレビ・映画をみる
- 6 仕事の下準備をする
- 7 打ち合わせ・商談をする
- 8 車窓からの景色をみる
- 9 その他
- 10 わからない

性別	男性	590	63.4	35.3	27.5	21.0	22.2	19.0
	女性	595	52.9	38.0	29.4	18.0	13.3	28.4
年代別	20~29才	149	65.8	28.2	38.3	20.1	30.2	14.8
	30~39才	191	59.2	30.9	26.2	28.8	27.7	20.4
	40~49才	211	63.5	37.4	30.3	24.2	22.3	16.6
	50~59才	182	64.8	41.2	29.7	19.8	17.0	15.9
	60~69才	213	60.1	49.8	29.1	9.9	6.6	23.9
規模別	21大都市	340	55.9	34.7	27.9	20.3	16.8	25.6
	15万以上の都市	372	62.9	39.2	32.3	21.0	20.7	18.8
	15万未満の市	366	60.7	36.3	27.0	18.0	16.7	25.1
	郡部	107	40.2	34.6	21.5	16.8	14.0	29.9

全体より10p以上高い  
 全体より5p以上高い  
 全体より5p以上低い  
 全体より10p以上低い

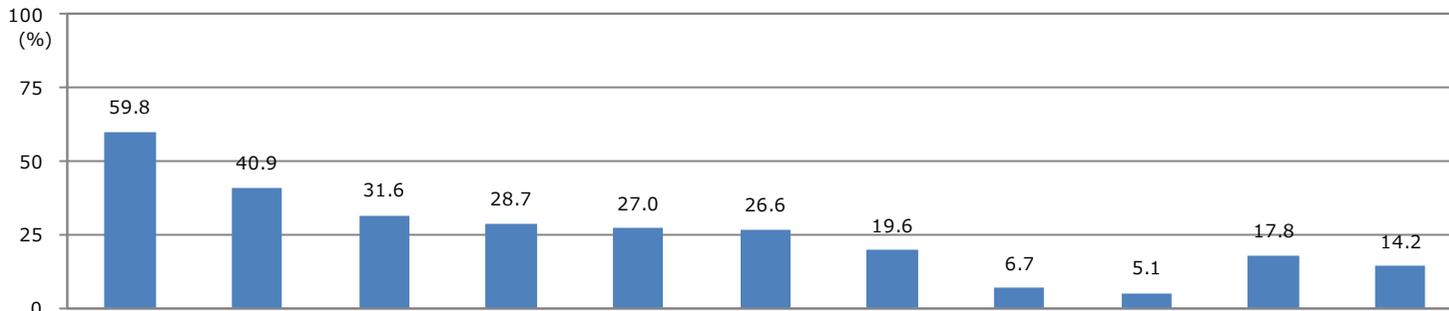
※全体の1200から無回答者を除いたサンプル数を100%としている ※全体のTOP5項目のみ表示  
 ※10・70代は数表から除外

(%)

「価格が高そう」が59.8%で1位。以下、「事故の時責任の所在がよくわからない」(40.9%)、「安全ではなさそう」(31.6%)と続く。

- 男女別に見ると、「技術が信頼できなさそう」、「運転する楽しみが減りそう」で男性の方が高く、逆に「安全ではなさそう」、「維持費用が高そう」、「わからない」で女性の方が高い。
- 年代別にみると、20-30代では「安全ではなさそう」が高く、逆に60代では23.0%と低い。
- 都市規模別にみると、郡部では「必要性を感じない」(26.4%)が高い。

問4 自動運転に関する懸念点についてあなたが感じることを、以下の中からあてはまるものをすべてお知らせください。(いくつでも)



全体より10p以上高い  
 全体より5p以上高い  
 全体より5p以上低い  
 全体より10p以上低い

N		価格が高そう	事故の時責任の所在がよくわからない	安全ではなさそう	維持費用が高そう	技術が信頼できなさそう	修理費が高そう	運転する楽しみが減りそう	費用対効果が低そう	耐久性がなさそう	必要性を感じない	わからない	
全体		1,187	59.8	40.9	31.6	28.7	27.0	26.6	19.6	6.7	5.1	17.8	14.2
性別	男性	591	61.3	41.5	28.6	25.9	30.1	25.7	24.0	6.9	5.1	17.4	9.3
	女性	596	58.4	40.4	34.6	31.5	23.8	27.5	15.3	6.4	5.0	18.1	19.0
年代別	20~29才	148	60.1	43.2	41.2	36.5	35.8	35.8	25.7	6.1	4.7	16.9	6.8
	30~39才	192	63.0	44.3	44.8	34.9	30.7	30.2	19.3	8.3	5.7	15.6	6.8
	40~49才	212	63.7	48.1	30.7	25.0	30.2	25.9	26.4	6.1	6.6	18.9	7.5
	50~59才	182	62.1	44.5	33.0	29.7	28.0	26.4	21.4	6.6	5.5	18.7	10.4
	60~69才	213	65.3	39.0	23.0	31.0	24.4	27.7	16.0	9.9	4.2	16.4	17.4
規模別	21大都市	341	58.1	44.6	31.1	30.5	29.0	25.8	18.5	7.0	3.8	14.7	14.4
	15万以上の都市	371	65.8	42.6	33.7	31.0	28.6	30.7	20.2	6.2	7.0	18.3	10.5
	15万未満の市	369	57.5	39.0	32.0	26.3	25.7	23.6	19.2	7.6	4.3	17.6	16.0
	郡部	106	52.8	30.2	24.5	23.6	18.9	25.5	22.6	3.8	4.7	26.4	19.8

※全体の1200sから無回答者を除いたサンプル数を100%としている

※10・70代は数表から除外

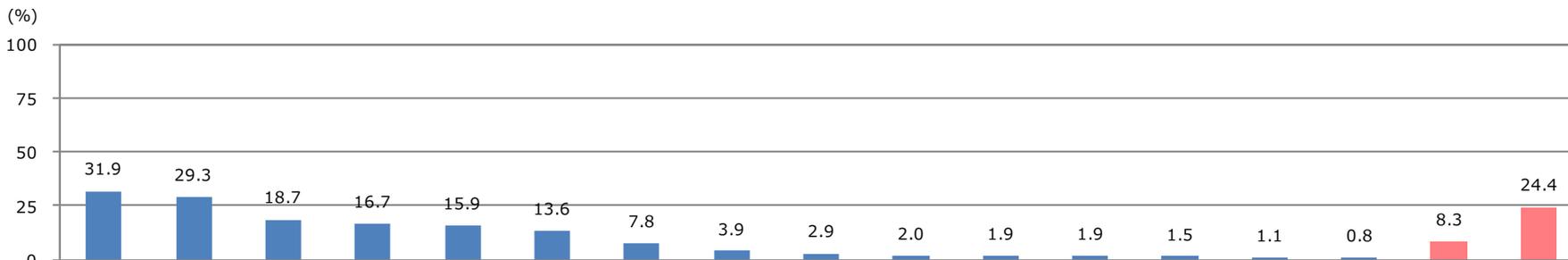
(%)

# 5. 「衝突被害軽減ブレーキ」搭載車で印象に残っているメーカー

「トヨタ自動車」(31.9%)と「日産自動車」(29.3%)が上位2メーカー。一方で、「知らない・わからない」と答えた人も24.4%。

- 男女別にみると、男性の方が「富士重工業(スバル)」と答えた人の比率が高い。一方、女性は「知らない・わからない」が32.9%と、男性の15.8%よりも高い。
- 年代別にみると、「トヨタ自動車」および「日産自動車」と答える人は年齢が上がるほど高くなる傾向にあり、中でも「トヨタ自動車」については、20代と60代では倍近い差がある。また、40-50代では「知らない・わからない」が、他の年代よりも低い。
- 都市規模別にみると、郡部では「知らない・わからない」が高くなっている。

問5 最近、色々な自動車メーカーが「衝突被害軽減ブレーキ(自動車が障害物を感知して衝突に備える機能の総称)」を搭載した車を発売していますが、あなたが印象に残っている自動車メーカーをお知らせください。(3つまで)



全体より10p以上高い  
全体より5p以上高い  
全体より50p以上低い  
全体より10p以上低い

N		トヨタ自動車	日産自動車	富士重工業(スバル)	ダイハツ工業	スズキ	本田技研(ホンダ)	マツダ	レクサス	三菱自動車	BMW	メルセデス	(VOLVO)	アウディ	フォルクス	その他	ひとつもない	知らない・わからない	
全体	1,186	31.9	29.3	18.7	16.7	15.9	13.6	7.8	3.9	2.9	2.0	1.9	1.9	1.5	1.1	0.8	8.3	24.4	
性別	男性	590	34.4	31.5	26.9	17.5	16.8	14.7	8.5	5.1	2.9	2.9	2.4	2.5	1.7	1.4	0.5	9.0	15.8
	女性	596	29.4	27.2	10.6	15.9	15.1	12.4	7.2	2.7	2.9	1.2	1.5	1.2	1.3	0.8	1.0	7.7	32.9
年代別	20~29才	149	20.8	26.2	16.8	20.1	19.5	9.4	4.7	6.7	1.3	4.0	2.7	3.4	2.7	3.4	0.7	14.1	24.2
	30~39才	192	26.6	27.1	20.8	20.3	16.7	11.5	7.3	2.1	1.0	2.1	1.6	1.6	0.5	1.0	0.0	12.0	21.4
	40~49才	212	31.1	32.1	26.9	20.3	13.2	14.2	11.3	3.3	2.8	0.9	2.4	1.9	0.9	1.4	0.9	9.0	12.3
	50~59才	182	33.5	35.7	25.8	17.0	19.2	17.0	9.9	4.9	3.3	2.2	2.2	0.0	3.3	0.0	2.2	8.2	15.9
	60~69才	212	37.7	33.0	15.1	11.3	15.6	16.5	6.6	5.2	4.7	1.9	3.3	1.4	1.4	0.9	0.5	4.2	28.3
規模別	21大都市	340	30.9	29.4	20.3	16.2	14.7	10.0	6.8	2.4	2.4	2.1	1.5	1.8	1.2	0.9	0.6	9.4	27.9
	15万以上の都市	371	34.0	31.5	18.9	19.7	18.1	17.3	7.3	3.8	2.7	1.9	2.2	1.9	1.6	0.8	0.5	8.4	20.2
	15万未満の市	368	32.1	29.1	17.4	14.4	15.5	13.6	9.5	6.0	3.8	2.4	2.4	1.6	2.2	1.9	0.8	7.3	23.4
	郡部	107	27.1	22.4	17.8	15.9	14.0	12.1	7.5	1.9	1.9	0.9	0.9	2.8	0.0	0.0	1.9	8.4	30.8

※全体の1200から無回答者を除いたサンプル数を100%としている

※10・70代を数表から除外

今後車を買うつもりのある人の中で、「つけたい」は18.5%。  
これに「できればつけたい」を加えると、「つける意思あり」は51.2%で半数以上。

- 男女別にみると、「つける意思あり」は男女とも半数程度。  
ただし、女性では「どちらとも言えない・わからない」(33.0%)が「つける意思なし」(17.2%)を上回っているが、男性では「つける意思なし」の方が高い。
- 年代別にみると、「つける意思なし」と答えた人は、年代が下がるほど高くなる。
- 都市規模別にみると、郡部では「つける意思あり」の人の割合が39.1%と、他の都市規模に比して低い。

問6 あなたは、今後車を買う時、「衝突被害軽減ブレーキ」が10万円程度でつけられるとしたら、あなたはこの機能をつけたいと思いますか。(1つだけ)

- 1 つけたい
- 2 できればつけたい
- 3 どちらとも言えない・わからない
- 4 あまりつけたいとは思わない
- 5 つけたいとは思わない
- 6 (そもそも)車を買うつもりはない

全体より10p以上高い  
全体より5p以上高い  
全体より5p以上低い  
全体より10p以上低い

		N	今後車を買うつもりあり
全体		1,191	85.7
性別	男性	593	90.9
	女性	598	80.6
年代別	20~29才	149	94.0
	30~39才	192	94.3
	40~49才	213	93.0
	50~59才	182	91.2
	60~69才	214	80.4
規模別	21大都市	341	82.4
	15万以上の都市	374	88.5
	15万未満の市	368	86.2
	郡部	108	85.2

N	つける意思あり			つける意思なし			どちらとも言えない・わからない
	つけたい	できればつけたい		あまりつけたいとは思わない	つけたいとは思わない		
1,021	51.2	18.5	32.7	23.5	11.2	12.3	25.3
539	52.5	20.4	32.1	29.1	13.0	16.1	18.4
482	49.8	16.4	33.4	17.2	9.1	8.1	33.0
140	45.0	14.3	30.7	35.7	15.0	20.7	19.3
181	50.3	14.9	35.4	26.5	14.4	12.2	23.2
198	47.0	15.2	31.8	20.2	11.1	9.1	32.8
166	56.0	22.3	33.7	18.7	9.0	9.6	25.3
172	59.3	22.1	37.2	17.4	6.4	11.0	23.3
281	53.7	18.9	34.9	23.8	10.7	13.2	22.4
331	53.8	20.5	33.2	23.3	11.8	11.5	23.0
317	49.8	17.7	32.2	21.1	9.5	11.7	29.0
92	39.1	13.0	26.1	31.5	16.3	15.2	29.3

※全体の1200から無回答者を除いたサンプル数を100%としている  
 ※右の数表では、そこから「今後車を買うつもりなし」を除いたサンプル数を100%としている。  
 ※10・70代は数表から除外

(%)

## 調査方法

- NOS(日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ)
- 調査員による個別訪問留置調査

## 調査対象

- 全国の15～79歳の男女個人 1,200人  
※エリア・都市規模と性年代構成は、日本の人口構成比に合致するよう割付をおこなった

## 抽出方法

- 毎月200地点を抽出、住宅地図データベースから世帯を抽出し個人を割当て

## 調査期間

- 2015年7月(7/1～7/13)

## サンプル構成

全 体	1200
男 性	596
女 性	604
15～19才	72
20～29才	149
30～39才	194
40～49才	214
50～59才	182
60～69才	217
70～79才	172

## NOS(日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ)について

調査パネルを使ってインターネットで簡単に情報収集できる時代になりましたが、NOSでは、40年以上にわたって、

①調査員を使った訪問留置、②パネルモニターではない毎回抽出方式で調査を継続しており、代表性のある信頼の高いデータを提供しております。

NOSは、毎月1回定期的実施する乗り合い形式(オムニバス)の全国調査です。

毎回ランダムに決められた200地点にて、対象となる方に調査員が協力を依頼してアンケートを回収します。

性年代構成を日本の人口構成比に合わせているため、全体結果は日本を代表する意見としてそのままご覧になることができます。

インターネット調査では、回収が難しい60代以上の対象者やインターネットを使っていない人の実態や意識を分析するのにも有用な手法と言えます。

## 《 引用・転載時のお願い 》

本レポートの引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

連絡先: 日本リサーチセンター広報室 メール: [information@nrc.co.jp](mailto:information@nrc.co.jp)

掲載では必ず当社クレジットを明記していただき、  
調査結果のグラフ・表をご利用の場合も、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。